【ソーシャルビジネス的手法による地域づくり促進助成】

令和７年度事業　実績報告

ケヤキ剪定枝等を活かした定禅寺通エリアブランディング・プロジェクト

実施団体①

一般社団法人
定禅寺通エリアマネジメント

実施団体②

アサヒユウアス株式会社

1. 事業実施団体について

定禅寺通エリアマネジメント
JOZENJI STREET AREA MANAGEMENT

- 定禅寺通地区の持続的な価値向上に寄与するエリアマネジメントに取り組むまちづくり団体。2022年4月に設立

■主な活動内容（実績）

- グリーンコミュニティ事業
- パブリックスペースマネジメント事業
- プロモーション事業
- フェローシップ事業
- 中間支援事業

Asahi アサヒユウアス

- 事業活動において、「循環型社会の形成に貢献すること」「地域課題解決に貢献すること」を目的に活動

■主な活動内容（実績）

- サステナブルプロダクツの開発・販売
- サステナブルドリンクの製造・販売
- 上記を通じたサステナブルネットワーク構築のコーディネート

2. 事業の実施内容

（1）課題

- 「定禅寺通エリアまちづくりビジョン2030」に基づき、地域関係者の意識醸成とあわせて、**市民の共感を得ながら定禅寺通のファンを増やすことが不可欠**
- 定禅寺通エリアで、ケヤキ並木から連想される**「サステナブル」や「エコロジー」なエリアとしてのイメージ戦略をもとにした取組み**を進めたい
- 定期的な剪定により発生した剪定枝は、**定禅寺通のまちづくりやエリアブランディングへ活用されていない**
- 仙台市では「プラスチック資源」の一括回収及びリサイクルを実施。市民に一層のごみ分別をしてもらうためには、**身近な製品へのリサイクルを行い、リサイクルを実感してもらうことが必要**

（2）目的

【最終的に目指す姿】

- 定禅寺通エリアがサステナブルなエリアとして全国・世界から認知され、そのイメージに紐づいた多彩な活動等が活発に行われることで、**多くの方が訪れ、経済活動につながる**。また、それに伴って定禅寺通エリアを応援する**ファンが市内外で増え、定禅寺通エリアにおけるまちづくりが活発に行われている**

（３）令和7年度事業の目標と実績

【令和7年度に期待できる効果】

- ケヤキ剪定枝を活用したオリジナルグッズ等が市民や来訪者に定禅寺通ならではのものと認知され、購入やイベントへの参加などの行動につながっている。

- オリジナルグッズ等の販売による収益モデルが確立され、事業が継続できる状態となっている。

【具体的な指標】

項目	指標	成果数
本プロジェクトに関わる主体が増えている	他主体とコラボレーションによる資源循環型グッズの開発	1種類以上
市民及び来訪者等がオリジナルタンブラーを手に取ることのできる環境ができている	オリジナルタンブラーの取り扱い・使用店舗数	3店舗以上
オリジナルタンブラーが購入されている	令和６・７年度の合計販売数	1,000個

（５）令和7年度事業の全体スケジュール

月	事業実施内容		
	❶イベント主催者等との連携による資源循環型コラボグッズの開発	❷オリジナルビールの商品化	❸オリジナルタンブラーの普及
4月	開発検討	レシピの再開発	リーフレット作成
5月			
6月			
7月	製造	製造	企業等への営業
8月			
9月	情報周知・販売	情報周知・販売	PRブースの出展
10月			
11月			PR動画の作成
12月			
1月			
2月	取りまとめ・会計確認、実績報告の作成		
3月			

（4）事業の実施体制

定禅寺通エリアマネジメント

- オリジナルグッズの企画、展開
- 定禅寺通街づくり協議会や仙台市関係課等との連絡調整

×

アサヒユウアス

- オリジナルグッズの開発、製作
- サステナブルをテーマにしたイベントの企画検討支援

多様な主体との連携により定禅寺通エリアの持続的な価値向上に取り組んでいる定禅寺通エリアマネジメントと、全国の自治体や企業等と連携し、サステナブル事業を展開しているアサヒユウアスが協働することで、「サステナブルな定禅寺通」のイメージを具体化し、市民や来街者に広く周知することができる。

連携

定禅寺通街づくり協議会
・会員及び沿道事業者への協力依頼

連携

仙台市環境局
・オリジナルグッズの材料提供（ケヤキ剪定枝チップ、プラスチックごみペレット）

連携

株式会社ユーメディア
・リーフレット等の企画及びデザイン、イベント時のPRブース出店場所の確保

（6）使用経費について

事業費総額　5, 597,552円

収入内訳	
助成額	3,000,000円
ｵﾘｼﾞﾅﾙｸﾞｯｽﾞ販売収入	2,408,930円
自己資金	188,622円
支出内訳	
＜助成対象経費＞	
人件費	573,300円
報償費	555,000円
消耗品費	4,875円
印刷製本費	300,000円
使用料及び賃借料	299,000円
設備備品購入費	1,464,100円
その他の経費	154,755円
＜助成対象外経費＞	
ｵﾘｼﾞﾅﾙｸﾞｯｽﾞ製作費	2,246,522円

3　実施した取り組みの紹介

（1）イベント主催者等との連携による、資源循環型コラボグッズの開発

- 定禅寺通エリアを会場にイベントを開催する、定禅寺ストリートジャズフェスティバル（以下、JSFと記載）とコラボし、**『JSCガンザ“けやシャカ”』**を開発
- 定禅寺通エリアマネジメントがアサヒユウアスに依頼してガンザを3,000個製造し、JSFに販売
- JSF（2025年9月13日（土）-14日（日））にて、**1個あたり1,100円**で販売し、**約600個を販売**





（2）オリジナルビールの商品化

- 定禅寺通エリアマネジメントから穀町ビール（仙台市若林区）に材料（ケヤキ剪定枝チップ）を提供
- 令和６年度にアサヒユウアスが開発したレシピを参考に、穀町ビールが製造したビールは**「JOZENJI STREET BEER」**として仙台オクトーバーフェスト（9月5日～23日）にて販売
- **１杯1,400円で販売**し、イベント期間中に予定していた**約350杯**（168L）を完売（最終日には売り切れ）
- （販売者からの声）
  飲んだ方からの**評判は良好**で、**リピートする人**が多かった



（3）オリジナルタンブラーの普及

●新規リーフレットの作成



（3）オリジナルタンブラーの普及

●PR用動画の作成

- ①プロジェクト概要の紹介、
  ②開発した製品紹介、
  ③2025年9月13日（土）に開催した「JSCガンザ”けやシャカ”＆JOZENJI STREET BEERお披露目会」の様子を紹介する動画を作成



（3）オリジナルタンブラーの普及

●常設店舗での販売
–とびばいさ甘座（3月末～）、仙台三越（6月末～9月）

- とびばいさ甘座では、通年を通して店頭で販売いただき、**12個を販売**
- 仙台三越では、2025年6月末～9月に店頭で販売いただき、**6個を販売**
  また、通常の店舗販売のほか、エムアイ友の会×think goodとして、
  タンブラー**33個を提供**







（3）オリジナルタンブラーの普及

●SENDAI光のページェントクラウドファンディング「ヒカペReborn」での返礼品としての活用

- 仙台三越とSENDAI光のページェントにより、令和7年度から新たに開始された「ヒカペReborn」プロジェクトで、クラウドファンディングを実施
- その返礼品として、地元・定禅寺通にゆかりのある商品であるJSCタンブラーを活用いただき、**23個を提供**



一般社団法人定禅寺通エリアマネジメント



仙台三越とは当法人のフェローシップ企業として、定禅寺通のまちづくりを共に進めていただいております。昨年のSENDAI光のページェント一部消灯を受け、定禅寺通のまちづくりに携わる当法人としても、地域の象徴であるこの灯りを未来へつなげたいという思いから、返礼品として協力させていただくことにしました。

（会社情報）〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町３丁目３番１号 定禅寺ヒルズ ５階
仙台市定禅寺通エリアにおいて、多様な主体との連携によるエリアマネジメント・まちづくりに取り組んでいます。

4 .事業の成果と今後の課題

【令和７年度事業の成果ー具体的な指標】

項目	指標		成果数
本プロジェクトに関わる主体が増えている	他主体とコラボレーションによる資源循環型グッズの開発	1 種類以上	2種類
市民及び来訪者等がオリジナルタンブラーを手に取ることのできる環境ができている	オリジナルタンブラーの取り扱い・使用店舗数	3 店舗以上	1店舗
オリジナルタンブラーが購入されている	令和６・７年度の合計販売数	1,000個	516個

今後の方針

- 令和６・７年度で関係性を構築した様々な主体と連携しながら、オリジナルグッズやコラボグッズの製造・販売を継続し、売上の一部を定禅寺通のまちづくりに還元する仕組みを定着させる
- 資源循環に関する取り組みや定禅寺通のケヤキの活用に関係する取り組みについて定禅寺通エリア全体として進める

様々な主体と連携し、資源循環に関する
取り組みを継続することで、
長期的な定禅寺通のブランディングにつなげていく

5.令和８年度の取り組み紹介

オリジナルタンブラーの普及

● 仙台市ふるさと納税返礼品としての販売

- 現在、申請手続き中。令和8年11月ごろより、販売開始の予定

● 販売店舗の拡大

- オリジナルビールの販売店で、タンブラーとビールのセット販売を実施

販売経路の拡大につなげる

市内外へ広く取り組みを周知する

オリジナルビールの商品化

- 令和8年8月5日～　m.chika（金港堂跡地　チカ堂内）での販売
- 令和8年9月11日～27日　仙台オクトーバーフェストでの販売

→今年度は瓶詰め、樽詰めの２種類で製造し、m.chika、仙台オクトーバーフェストともに好評

→特に瓶詰めの需要が高かったことから、今後の継続生産・販売店の確保を検討





市内外への取り組み周知に寄与

定禅寺通伐採木を活用した新規コラボグッズの開発



老朽化によって伐採されたケヤキ５本について、
本プロジェクトの趣旨に共感いただくパートナーとの協働（各者と覚書を締結）により、活用を模索

①ユーメディア×JSAM

- ノベルティ（箸置き）として活用
  （エスパル仙台エキチカダイニングけやき香路オープン時に配布）
- コースターとして活用（ライブレストランJ'Zにて利用）

市民への取り組みのPRに寄与





定禅寺通伐採木を活用した新規コラボグッズの開発

②ODORIJI × JSAM

- 伐採木を小物や大型家具等へ活用する取り組みを「ケヤキのつづき」として開始
- 2025年12月～2026年2月までクラウドファンディングを実施。大型家具を製作するのに必要な製材・乾燥・保管等の費用について、クラウドファンディングの費用を充当

市内外への取り組み周知に寄与、
サステナブル・エコなエリアとしてのブランディングに寄与





ZEB認定証
（仙台市環境局との協働）